【資料１】

環境省
Ministry of the Environment

気候変動中部広域協議会事業　2025年度上期実績

中部地方環境事務所　環境対策課

COOL CHOICE
未来のために、いま選ぼう。

つなげよう、支えよう 森里川海

Plastics Smart

1.熱中症セミナー　全5回開催

開催日時	開催地	参加者数
5月28日 13：30～16：00	じゅうろくプラザ(岐阜県文化産業交流センター)　5F　小会議室	35名(自治体、国の機関、団体、企業等)
5月29日 13：30～16：00	愛知県　名古屋市 環境省中部地方環境事務所会議室	61名(自治体、国の機関、団体、企業等)
6月6日 13：30～16：00	長野県伊那合同庁舎　5F　講堂	31名(自治体、国の機関、団体、企業等)
6月19日 13：15～16：00	尾張一宮駅前ビル i-ビル 2 階 大会議室	63名(一宮市役所職員のみ)
6月27日 13：30～16：20	富山県防災危機管理センター 会議室５B･C	13名(自治体、国の機関、団体等)

1.熱中症セミナー　チラシ例　愛知会場

納得して実践する熱中症対策セミナー

市民の熱中症対策にお悩みの**自治体担当者**、必見！
従業員の熱中症対策にお悩みの**企業担当者**、必見！
IN　愛知

今年もまた愛知に暑い夏が来そうです。熱中症対策を気象データ、エアコン、建物、衣服等様々な視点からとらえ、熱中症にならないための地域に合った対策について考え、行動するための実践的なセミナーを開催します。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

開催日：**2025年5月29日（木）**13：30～16：00

会　場：環境省中部地方環境事務所　第１・第2会議室
（名古屋市中区三の丸2－5－2）

定　員：対面式参加30名、WEB50名程度（先着順）

お申込み：**2025年5月23日（金）**までに事務局迄メールにてお申し込み下さい。参加費は無料です。

【お申し込み・お問合せ・アンケート提出先】
事務局：株式会社都市研究所スペーシア（浅野・加藤）
Eメール：chubu_adplatform@spacia.jp　TEL:052-242-3262（受付　10～17時）

プログラム

13：30　開会　開会挨拶　環境省　中部地方環境事務所
13：30　「地域に合った熱中症対策～データで考える地域特性～」環境省中部地方環境事務所
13：45　「室内熱中症を予防する住まいと住まい方」
一般財団法人　住宅・建築SDGs推進センター　理事長　伊香賀俊治氏

慶應義塾大学名誉教授。1959年東京都生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業・同大学院修了。（株）日建設計 環境計画室長、東京大学助教授、慶應義塾大学理工学部教授を経て、2024年より現職。専門分野は建築・都市環境工学。主な研究課題は『住環境が脳・循環器・呼吸器・運動器に及ぼす影響実測と疾病・介護予防便益評価』。博士（工学）。日本建築学会副会長、日本LCA学会副会長を歴任。共著に『熱中症の予防と現状』『最高の環境建築をつくる方法』、『すこやかに住まう、すこやかに生きる、ゆすはら健康長寿の里づくりプロジェクト』、『“生活環境病”による不本意な老後を回避する－幸齢住宅読本』ほか。

14：15「着衣から考える熱中症対策」信州大学　繊維学部　准教授　佐古井 智紀氏

1974年生まれ。北海道大学衛生工学科卒業・北海道大学大学院修了。博士（工学）。東京大学生産技術研究所ポストドクター、産業技術研究所研究員、東京大学生産技術研究所ポストドクター、信州大学特任助教、同講師を経て、2015年より現職。専門分野は建築環境工学。主な研究課題は、「ヒト-衣服-環境系の統合計画」、「温熱快適性・熱ストレス・寒冷ストレス評価」、「涼しい衣服の開発」など。日本生気象学会熱中症予防研究委員会委員。共著に「快適な温熱環境の仕組みと実践」ほか。

14：45　「従業員の熱中症予防に効果的な工場の遮熱対策」（株）キザキ　代表取締役木崎　秀臣氏
15：00　「快適性と生産性向上の同時達成について」経済産業省中部経済産業局
エネルギー対策課　総括係長　伊藤大介氏
15：15　休憩
15：30　質疑応答・意見交換会
※質問はお申し込み時の事前質問に限らせて頂きますのでご了承下さい。
16：00　閉会　閉会挨拶　環境省中部地方環境事務所

申込み方法

以下の項目をご記載の上、事務局（chubu_adplatform@spacia.jp）までメールにてお申し込み下さい。
①参加者氏名、②参加者所属　③連絡先メールアドレス　④希望される参加方法（対面参加・WEB参加）
※複数で参加を希望される場合は参加者希望者全員の氏名、所属と代表者1名のメールアドレスのご記載をお願いします。

その他

【ご質問】質問内容、質問先についてご記載の上、事務局まで5月22日（木）までにメールにてご送付下さい。
【アンケートへのご協力】参加者のみなさまにアンケート調査票をお送りしますので、セミナー終了後ご記入の上、事務局までメール添付にてご回答下さい。
【名刺交換会】
対面後参加者に限り、セミナー修了後30分程度の名刺交換会を開催する予定です。
【会場アクセス】
中部地方環境事務所：　名古屋市中区三の丸2-5-2
地下鉄名城線「名古屋城駅」4番出口から徒歩５分
※会場へは公共交通機関のご利用をお願いします。

1.熱中症セミナー　チラシ例　富山会場

熱中症対策に取り組む**自治体担当者**のみなさま
指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）のみなさま必見！

熱中症対策強化勉強会（富山県）

昨年の熱中症死亡者が2000人超となり、抜本的な対策が求められています。地球温暖化の進行抑止と共に「熱中症」予防のため、広い視点から地域に合った対策の実行が求められています。今回、富山労働局、北陸農政局そして富山県の保健・環境部局他の協力のもと、東京から労働災害の専門家をお呼びして、共に考え、そして行動するための「（自治体職員向けの）熱中症対策強化勉強会」を開催します。
多数のみなさまのご参加をお待ちしてます！

開催日：**2025年6月27日（金）**13：30～16：20

会　場：富山県防災危機管理センター
　　会議室5B・C（富山県富山市新総曲輪1－7）

定　員：対面式参加　35名

▼申込フォームはこちら

お申込み：**2025年　6月24日（火）**までに
　　申込フォームからお申し込み下さい。
　　参加費は無料です。

https://forms.gle/7xgZ6Mpksr\Vwmupi8

【お申し込み・お問合せ・アンケート提出先】
事務局：株式会社都市研究所スペーシア（浅野・加藤）
Eメール：chubu_adplatform@spacia.jp　TEL:052-242-3262（受付　10～17時）
※内容の問合わせ先：環境省中部地方環境事務所環境対策課　小倉（KT-CHUBU@env.go.jp）

主催：環境省中部地方環境事務所　協力：北陸農政局、富山労働局、富山県

プログラム

13:30　開会（挨拶）環境省　中部地方環境事務所　水原健介次長
13:33　「熱中症最新情報について」（独）環境再生保全機構（ERCA）　合谷真弓様
13:45　「熱中症による死傷災害の発生状況と改正労働安全衛生規則について」
　　富山労働局　労働基準監督官　杉本憲俊様
13:55　「農作業における熱中症の現状と対策」北陸農政局　生産部　環境・技術課　今村誠一様
14:05　「官民連携による熱中症対策取組について」大塚製薬㈱※ソーシャルヘルス・リレーション担当
　　前野　禎課長　（※*大塚製薬㈱は環境省と「熱中症対策推進協定」を締結しています*）
14:20　【講演】「職場における熱中症への具体的対策」
　　独立行政法人　労働者健康安全機構　ばく露評価研究部長　齋藤宏之先生
15:00　休憩（※以下のプログラムは行政職員向け）
15:05　「熱中症による救急搬送件数等について」富山県危機管理局消防課予防係　村井尚弘主事
　　「気候変動適応策としての熱中症対策について」生活環境文化部環境政策課　佐野敦主幹
　　「熱中症を含む農作業事故の防止に向けた取組みについて」
　　富山県農林水産部農業技術課エコ農業推進係
15:30　ミニ・ワークショップ（参加者がグループを作って意見交換）
15:50　グループ発表
16:00　クロージング（講評：齋藤宏之先生）
16:10　閉会挨拶（富山県　環境部）

申込み方法

2025年　6月24日（火）までに申込フォームからお申し込み下さい。
参加費は無料です。
※フォームでのお申込みが難しい場合は、①参加者氏名、
②参加者所属　③連絡先メールアドレスをご記入の上、
事務局（chubu_adplatform@spacia.jp）までメールにてお申し込み下さい。
※複数で参加を希望される場合は参加者希望者全員の氏名、
所属と代表者1名のメールアドレスのご記載をお願いします。

▼申込フォームはこちら

https://forms.gle/7xgZ6Mpksr\Vwmupi8

その他

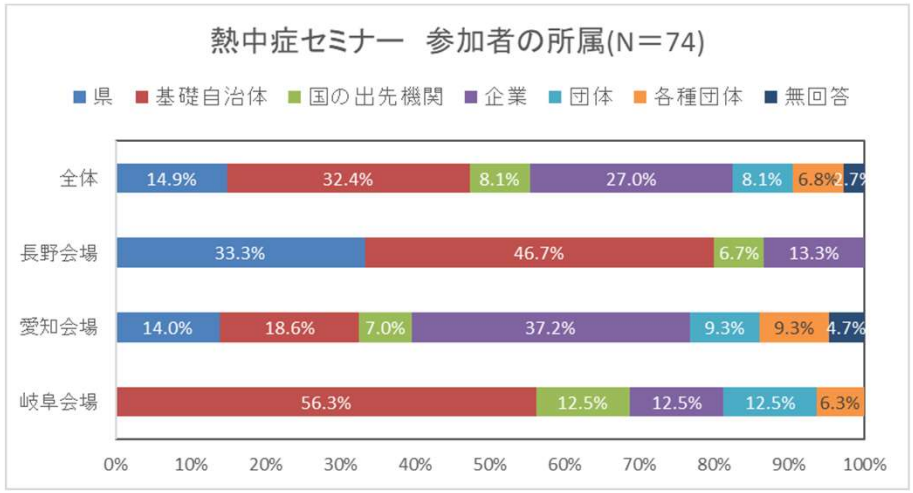
【ご質問】事前に質問がある場合には内容、質問先についてご記載の上、事務局まで6月24日（火）までに上記ファームかメールにてご送付下さい

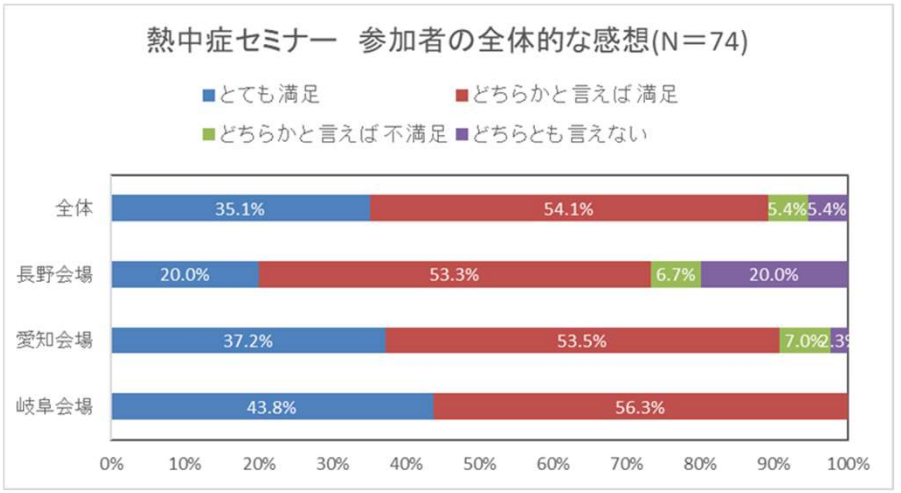
【アンケートへのご協力】参加者のみなさまにアンケート調査票をお送りしますので、セミナー修了後ご記入の上、事務局までメール添付にてご回答下さい。

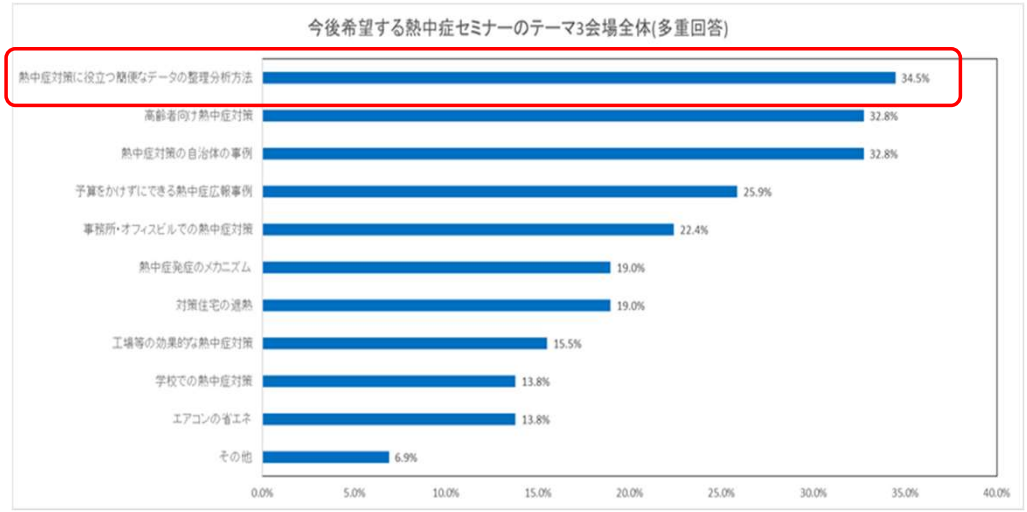
【会場アクセス】富山県庁防災危機管理センター
JR富山駅、富山地方鉄道電鉄富山駅から徒歩10分

※会場へは公共交通機関のご利用をお願いします。

1.熱中症セミナー　アンケート結果　抜粋　(愛知会場、岐阜会場、長野会場)







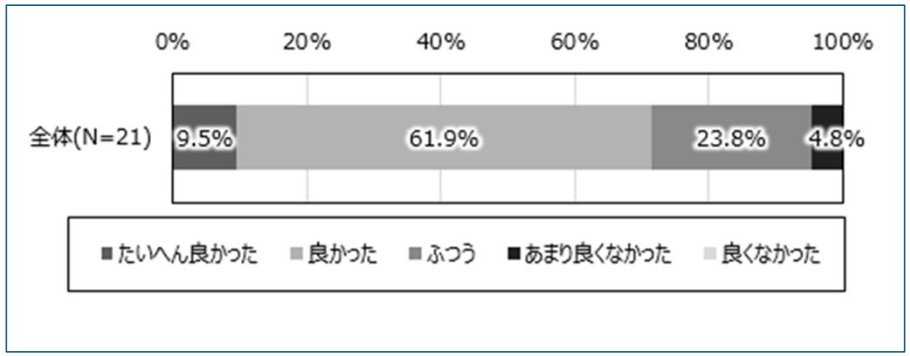
参加者の所属別今後希望する熱中症セミナーのテーマ

多重回答	熱中症対策の自治体の事例	エアコンの省エネ	対策住宅の遮熱	熱中症発症のメカニズム	工場等の効果的な熱中症対策	事務所・オフィスビルでの熱中症対策	学校での熱中症対策	高齢者向け熱中症対策	予算をかけずにできる熱中症広報事例	熱中症対策に役立つ簡便なデータの整理分析方法	その他
県	28.6%			28.6%			14.3%	57.1%	14.3%	28.6%	
基礎自治体	50.0%	13.6%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	27.3%	45.5%	22.7%	18.2%	9.1%
国の出先機関	40.0%	20.0%	40.0%		20.0%	60.0%	20.0%	60.0%	60.0%	80.0%	
企業	7.1%	14.3%	21.4%	28.6%	35.7%	42.9%			35.7%	50.0%	
団体	50.0%		25.0%			25.0%				50.0%	
各種団体	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%		25.0%			25.0%

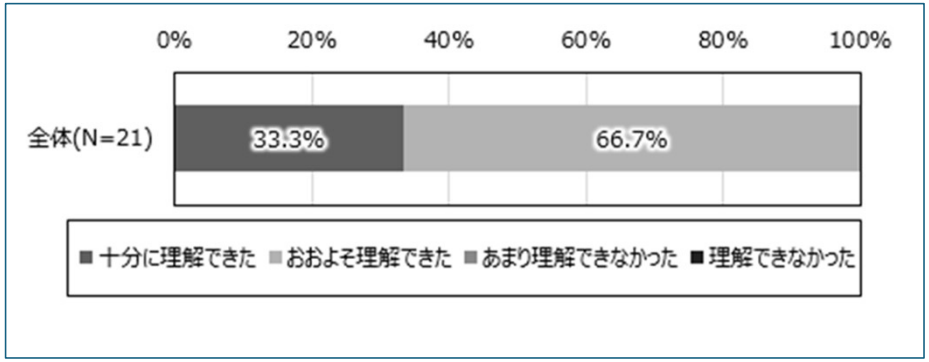
熱中症セミナー　アンケート結果　抜粋　(一宮会場、富山会場)

一宮会場　アンケート結果

セミナー全体の感想について　(N＝21)

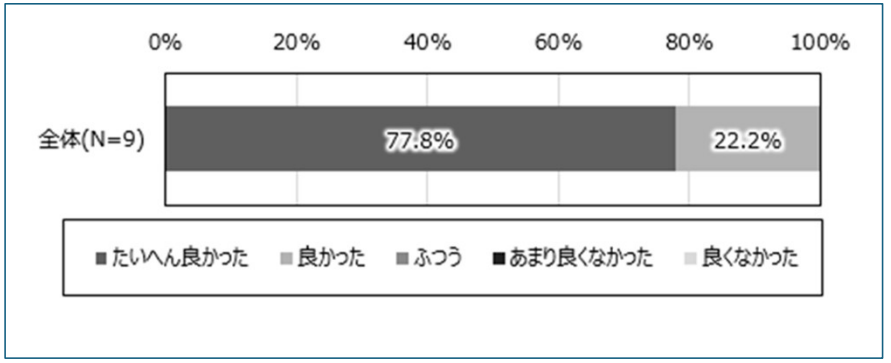


熱中症への理解醸成について(N=21)

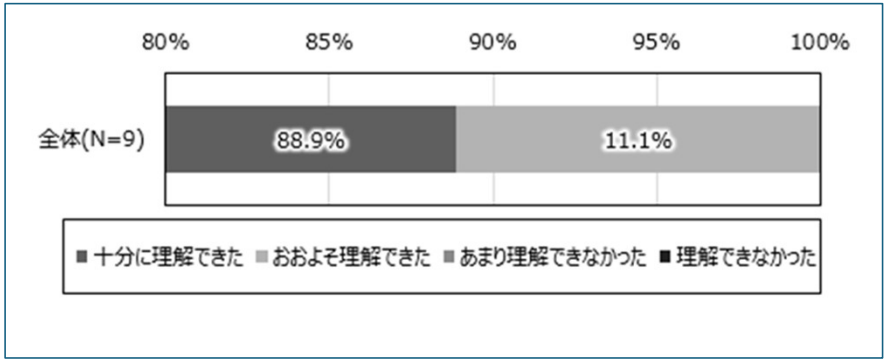


富山会場　アンケート結果

セミナー全体の感想について　(N＝9)



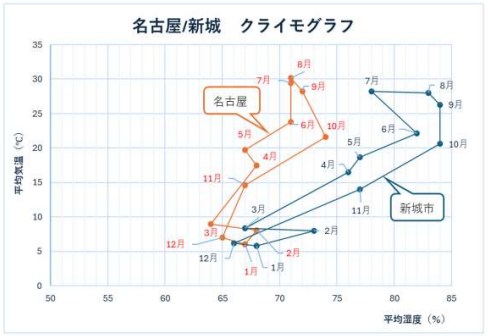
熱中症への理解醸成について　(N=9)



1.熱中症セミナー　データの整理方法（抜粋）

我が町の気候の特徴を知ろう

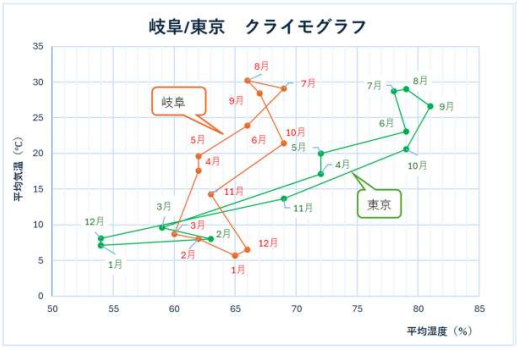
●クライモグラフ（climograph）は、月平均の気温と相対湿度をグラフにしたもの。
●グラフの線の形とポイントの位置から、気候と人の生活環境として適しているかどうかを考えることができる。
●4月　名古屋と東京、気温はほぼ同じ、湿度は東京が高い。名古屋と新城は気温はほぼ同じ、湿度は新城が高い。

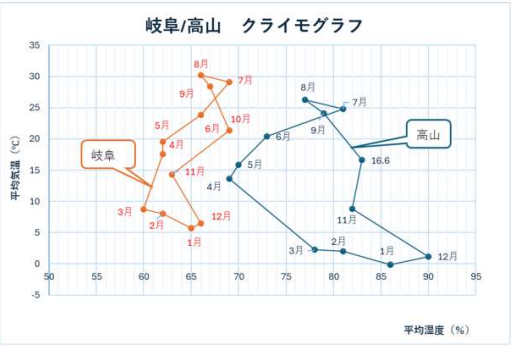


8

我が町の気候の特徴を知ろう

●クライモグラフ（climograph）は、月平均の気温と相対湿度をグラフにしたもの。
●グラフの線の形とポイントの位置から、気候と人の生活環境として適しているかどうかを考えることができる。
●4月　岐阜と東京、気温はほぼ同じ、湿度は東京が高い。岐阜と高山、気候特性が大きく異なる。岐阜は月平均気温が5℃を下回ることはない。高山は月平均気温が0℃近くまで下がる月が2つある。岐阜は月平均湿度が60%～70%に収まっている。高山は70%～90%までと幅広い。特に7月の高山は岐阜に比べて湿度が10%程度高い。





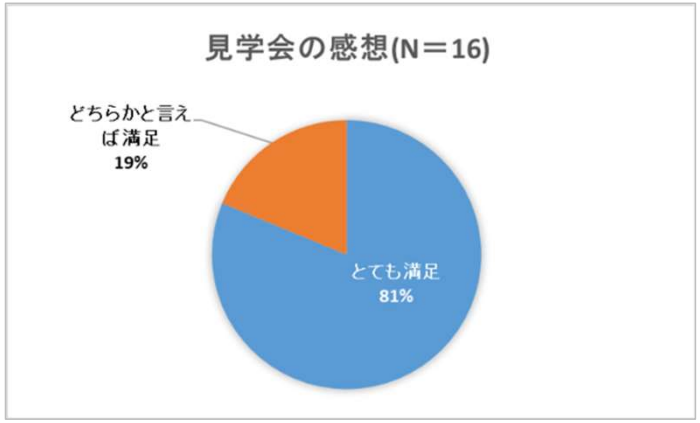
出典：気象庁 「過去の気象データ検索 」https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/ より環境省中部地方環境事務所で作成。気象データはいずれも2024年

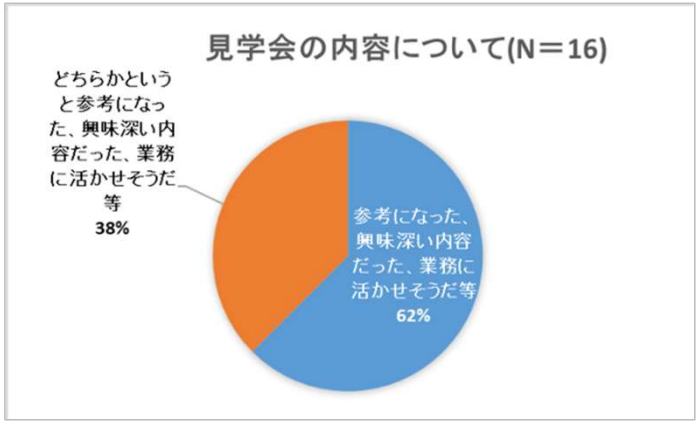
2.見学会　気候変動適応ビジネス　アート金属工業（株）

気候変動をチャンスと捉え、コーヒーベルトの北上に着目し、コーヒービジネスに着手されたアート金属工業（株）さんの見学会を開催。

- 見学日：2025年6月16日(月)13：30～16：00
- 見学先：アート金属工業（株）本社･塩田工場　長野県上田市
- 参加者：19名(大学等教育機関、自治体、国の機関、団体、企業等)

参加者アンケート結果抜粋





3.勉強会　福井会場

- 参加者数：33名

4.ニューズレターの発行　第1号

2025 年度　第 1 号

Toi e$_{nv.}$t Moi

あなたの E 話をあのひとに伝えたい！
気候変動にポジティブにチャレンジしている方の E 話をお伝えします。
今回取り上げる企業は「アート金属工業（株）」様です。
環境省中部地方環境事務所

この号の内容

世界シェア 2 位のピストンメーカーアート金属工業(株)がチャレンジする 気候変動適応ビジネス。

ピンチをチャンスに変える社員のポジティブ発想

自動車業界の EV 化シフトと温暖化による気温上昇の W ピンチを社員のポジティブ発想で活路を開く。

コーヒー2050 年問題

コーヒーベルトが長野に来る！

気温が上がるならそうだ！ 上田でコーヒーを作ろう！

今回は気候変動ビジネスにチャレンジされている上田市のアート金属工業(株)さんをご紹介します。
アート金属工業(株)さんはピストン製造に特化した企業で世界第 2 位、日本 1 位のシェアを誇ります。2017 年に設立 100 周年を迎える同社が「２０３０年にありたい姿」を具現化するための中長期経営計画「ＡＳ30（ART Strategy2030）」の新事業創出で社員から寄せられた取組みの一つがコーヒービジネスでした。自動車業界が EV にシフトする中、主力製品のピストンの生産提供が減っていくという危機感と工場の跡地利用という二つの課題解決、コーヒー2050 問題 （気候変動によるコーヒーベルトの移動）、コーヒー市場規模や上田地域の経済振興への寄与等を検討した結果、コーヒー事業にチャレンジすることになったそうです。

気候変動とコーヒー栽培

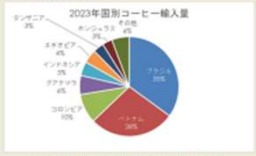
<黄色帯がコーヒーベルト地帯>

コーヒーの木の生育適温は 15～25℃（年平均 20℃）と言われていますが、近年の気候変動によって現在のコーヒーベルト地帯がこの生育適温に適さなくなってきています。一方長野県の調査では（※１）では 2031 年～2050 年の松本の気温上昇は 0.56℃～2.95℃、2081 年～2100 年は 1.07～6.61℃と予想されています。2024 年の上田市の年平均気温は 13.7℃なので、2050 年には 14.3～16.7℃となりコーヒーの生育適温に近くなる可能性があります。

（※1）長野県環境保全研究所報告（2021）

コーヒービジネス市場規模

ある調査※1によると 2023 年のコーヒー業界の市場規模は 4648 億ドル(約 697,746 億円※2)と言われています。国際コーヒー機関によると 2022 年の一人あたりのコーヒー消費量で日本は世界第 8 位、一人あたり 1 日約 1 杯のコーヒーを飲んでいます。



<2023 年国別日本コーヒー輸入量>

※1：調査会社ステラマーケットリサーチ
※2：2025 年 3 月 27 日時点

コーヒーが Guiding Light になった！

～ピンチをチャンスに変えた従業員の発想力～

従業員の中に広がっていた先行き不透明感にコーヒー事業が明かりを灯し、大きな Guiding Light（先を照らす光）になりました。担当部長は、コーヒーの木の生長につれて従業員の意識がポジティブに変化してきたことが企業として大きな喜びだと言われています。企業としてのピンチをチャンスに変えられたのは従業員の発想力と前に進もうとする生きる力のようです。

<コーヒー栽培実験用ビニールハウス>

コーヒー事業の現状

現在アート金属工業では約２５０㎡のハウス内にアラビカ種ティピカ の種子を凍結解凍覚醒法（※２）により処理し育てた苗 から 40 株を栽培しています。昨年度は第 1 回の収穫で約 70g のコーヒー豆を収穫しましたが、今年度は木も生長したため収穫量の増加を予想しています。ビニールハウスの加温には年中 13～15℃である地下水を活用した地中熱ヒートポンプと高効率電気エアコンの活用で灯油暖房の消費量を 8 割程度削減に成功し、CO_2 排出削減にも貢献しています。

（※２）凍結解凍覚醒法とは、半年間かけてコーヒーの種を凍結し、さらに半年間かけて種を解凍することで、眠っていた遺伝子を活性化させ、結果として耐寒性を持たせる技術。

コーヒー事業の課題

収穫量の増加対策と一緒にやってくれるパートナーをどうやって見つけるかが課題とのことでした。

アート金属工業(株)〒386-0027　長野県上田市常磐城 2-2-43
TEL 0268-22-3000（代表）